



イネヨトウ幼虫



イネヨトウ成虫

サトウキビ畑を荒らす
イネヨトウの防除に！

交信かく乱用フェロモン剤

ヨトウコン[®]-I

(インフェルア剤)

包装形態：50m/巻、12巻/箱

交信かく乱用フェロモン剤 ヨトウコン- I

一般名：インフェルア剤

有効成分の種類及び含有量

(Z)-11-ヘキサデセニル=アセタート……………68.7%

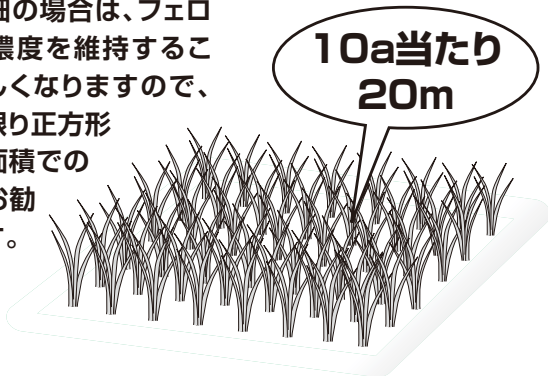
(Z)-11-ヘキサデセン-1-オール……………24.0%

安定剤等……………7.3%

上手な使い方

◆処理本数

10a当たり20mを確実に処理してください。但し、立地条件、風向き、土地の傾斜などを考慮して、必要な場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに処理するようにしてください。できるだけ大きな面積で本剤を処理することがより効果的です。また、同じ面積でも、細長い畑の場合は、フェロモンの濃度を維持することが難しくなりますので、できる限り正方形に近い面積での処理をお勧めします。



◆処理方法(基準)

製剤を直接植物体に縛りつけ固定するか、もしくは畑に支柱を立て、そこに製剤を結びつけ、ロープ状に張って使用します。この場合、製剤のたるみによって、製剤が直接地面に接触しないように注意してください。



適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用場所	使用目的	使用病虫害名	使用量	使用時期	使用方法
さとうきび 飼料用さとうきび	さとうきび及び 飼料用さとうきび 栽培地域	交尾阻害	イネヨトウ	15~20m/10a (27g/20m製剤)	成虫発生 初期から終期	支柱を立てロープ 状の製剤を対象 作物の上部に張り 渡す。

使用上の 注意事項

- 本剤は、さとうきび及び飼料用さとうきびのイネヨトウ成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としていますので、これらの成虫発生初期から比較的広範囲な地域で使用してください。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用してください。
- 本剤は支柱を立てロープ状の製剤を対象地帯に均一になるように対象作物の上部に張り渡し設置してください。また、標準的な使用量は10a当たり15~20mですが、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合がありますので、諸条件から判断して、必要な場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに設置してください。
- 急傾斜地、風の強い地域等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- 製剤を直接ふれた手で収穫物を触ると臭いが移る恐れがありますので手を洗ってください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散しますので、密封したまま冷暗所(5℃以下)に保管し、使用直前に開封して使い切ってください。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 本剤は皮膚に対して刺激性がありますので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 火気を避け、直射日光が当たらない冷暗所(5℃以下)に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2019年11月現在の知見に基づいて作成されています。

製造・発売元

ShinEtsu 信越化学工業株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1
TEL.03-3246-5280